

この地図で、七不思議の場所がわかるね。



川越市シルバー人材センター主催の「七不思議巡りツアー」が開催されます。お楽しみに。

○みんなからの情報や感想を送ってね○

はつかりくん・やまぶきちゃんのようにいろいろな探検をした感想や写真を送って下さい。採用されると「おたよりコーナー」で紹介されます!もちろん、行ってほしいところや特集してほしいことなどのおたよりも大歓迎です。必ず自分の名前(ふりがな)・住所・電話番号・学校名・組を書いてね。(ファクス・Eメール可)  
 送り先: 〒350-8601 川越市役所 地域教育支援課

FAX: 049-226-4699  
 E-mail: chiikikyoiku@city.kawagoe.saitama.jp

書いて送ってね。クイズの答えも

<p>おもて</p> <p>〒350-8601 川越市役所 地域教育支援課</p>	<p>うら</p> <p>クイズの答え Q1 Q2 Q3</p> <p>名前 学校名 学年・組 住所 電話番号 感想 行ってほしいところや特集してほしいことなど</p>
---	--

**クイズコーナー**

Q1 川越城をつくったのは、だれでしょう?  
 ①太田道真 ②太田道灌 ③道真、道灌親子

Q2 時の鐘の高さは、何メートル?  
 ①10メートル ②13メートル ③16メートル

Q3 川越城の七不思議のほかに七不思議の伝説があるのはどこでしょう  
 ①時の鐘 ②喜多院 ③連けい寺

わかったらはがきに答えを書いて、送ってね。正解者の中から抽選で賞品を送ります。

発行 川越市教育委員会地域教育支援課  
 協力 かわごえし子ども情報誌編集協力員  
 電話 049-224-6086 (直通)

URL: <http://www.city.kawagoe.saitama.jp>  
 E-mail: [chiikikyoiku@city.kawagoe.saitama.jp](mailto:chiikikyoiku@city.kawagoe.saitama.jp)

※「小江戸探検隊」は川越市立小中学校児童生徒の全家庭に配布しています。

# かわごえし子ども情報誌

## 小江戸探検隊

だいごう 第41号  
 へいせいねんがつか 平成29年7月10日

おもないよう 主な内容

●川越城の七不思議って、何かな?

ニコニコ探検隊



かわごえし子ども情報誌は、子どもたちの休日における体験活動を支援するための情報誌です。

### 霧吹き

川越城内の東北に石でかこいのし  
てある古い井戸があります。これを  
霧吹きと呼びます。

いつもは井戸にふたをしていまし  
たが、敵が攻めてきて城が危ない  
という時はすぐに、井戸のふたを取  
ります。すると不思議なことに井戸  
の中より霧がもうもうと吹きだし、  
あたり一面にたちこめます。城のま  
わりを濃霧がつつんでしまい城を  
隠してしまいます。

このことから、  
川越城は、霧隠  
城ともいわれる  
ようになったと  
さ。



### 天神洗足の井水

太田道真、道灌親子が、川越城の  
堀の水をためる水源をさがしてい  
ました。ある日のこと、初雁の杉  
あたりで、一人の老人が井水に足  
をつけて洗っていました。老人に  
築城のことを話すと、水源に案内  
してくれました。

その老人こそ日ごろから信仰して  
いる三芳野天神さまの化身とわか  
り、老人のつかっていた井水  
を「天神洗足の井水」と名づけ  
の世まで伝えられたとさ。



### 初雁の杉

三芳野神社の裏にみごとな杉があ  
りました。

北の空から飛んできた初雁が、  
きまって、この杉の上で「ガアガ  
ア」と3声なきながら、3度、グ  
ルッとまわり、南の方へ飛び去  
りました。

これは、毎年このことで一度も忘  
れたことがなかったそうです。  
このことよって、川越城は初雁  
城と呼ばれるようになったとさ。



### 城中蹄の音

夜もふけ皆が寝ずまるころ、城  
中にはどこからともなく矢叫びや蹄  
の音がけたたましく聞こえてくる  
でした。占ってもらうと、戦の図が  
城中にあり災いしているのだとい  
ます。

早速、屏風画を養寿院に寄進し  
ました。そうしますとその夜から、  
すらかに眠れるようになったとさ。



## 川越城の七不思議

### 伝説

### 人身御供

川越城のまわりは沼が多く、土地  
がやわらかく七ツ釜といわれ、築城  
に苦労しました。  
沼の主、龍神さまが太田道真の夢  
枕にあらわれ「人身御供を差し出せ  
ば築城は成就するであろう」と、  
告げました。  
同じ夢を見た道真の娘が、自ら沼  
に身を投げ龍神にささげたそう。

### 言い伝え

「川越の伝説」(川越市教育委員会発行)に、載っています。

不思議な言い伝えが  
あるんだね。

伝説の場所に行くこ  
とができるのよ。



はつかりくん



やまぶきちゃん

### 七ツ釜と片葉の葦

川越城に住んでいたお姫さまが、  
浮島神社の近くの七ツ釜のほとつに  
落ちてしまいました。

乳母の力ではお姫さまをどうする  
こともできませんでした。お姫さま  
は、浮きしずみしずみ、ただもがく  
ばかりでした。近くの葦の葉にしが  
みつぎ、はいあがるうとしましたが、  
葦の葉はもろくもちぎれ、お姫さま  
は片葉をつかんだまま水底に沈みま  
した。

その後、七ツ釜あたりに生い茂る  
葦は、すべて片葉の葦になったとさ。

### よな川の小石供養

昔、芳野村の名主に「およね」とい  
う気立ての良い娘がいました。  
ある時、お殿様の鷹狩りのお供のお  
小姓が、およねをひと目見て好きに  
なり、お嫁にもうりました。しかし、  
夫の姑が口うるさく、およねにつら  
くあたりました。  
ある日お殿様から拝領した大切な  
皿を割ってしまったからさらにつ  
らく当たるようになり、とうとうた  
まりかねたおよねは、小川に身を投  
げました。

それを知った夫は、およねを追っ  
て小川に身を投げました。その後こ  
の小川を通る人が、二人を哀れに思  
い小石を投げ込むと、底の方から無  
数の泡が浮いてきたんだとさ。